

吉沢公民館

再編中

(仮称) 土沢認定こども園



再編手法	敷地単位での施設の複合化 施設の民設民営化（土屋幼稚園と吉沢保育園）	
再編内容	吉沢公民館を再整備するとともに、吉沢保育園と土屋幼稚園を統合した認定こども園を現吉沢公民館敷地内の一部に新設し、土地活用の合理化を図る。幼児教育と保育サービスの機能を統合した認定こども園は、民間事業者が新設、運営する。	
(新) 吉沢公民館 施設概要 (予定)	開設	令和3年度（2021年）
	所在地	平塚市上吉沢 395（現吉沢公民館敷地内の一部）
	規模	鉄骨造1階建て 575平方メートル程度
	その他	
(仮称) 土沢地区 認定こども園 施設概要 (予定)	開設	令和6年度（2024年）以降
	所在地	平塚市上吉沢 395（現吉沢公民館敷地内の一部）
	規模	未定
	その他	新吉沢公民館建設後、民間事業者により整備する。

<p>再編に至る経緯</p>	<p>旧吉沢小学校の校舎を活用した吉沢公民館は建物の老朽化が激しく、また、耐震性に対しても問題を抱えていた。加えて、土屋幼稚園及び吉沢保育園についても建設後35年以上が経過し老朽化が進んでいるとともに、耐震改修も必要な園であった。</p> <p>以上のことから、公民館の建替えと、本市の待機児童対策問題等を勘案し、より充実した子育て支援の展開や拡充を目指して、民間活力を導入した民設民営の認定こども園を新規開設することとした。</p>
<p>再編で期待できる効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建替えを行うことで、利用者の安全性が確保できる。 ・ユニバーサルデザイン等を取り入れた時代に即した施設になり、利用者の利便性が向上する。 ・子育て支援に関するサービスの向上。(認可定員数の増加や保育サービスの向上。) ・既存施設を廃止し新たに民設民営による施設の設置を行う事で、耐震性の確保された安全性の高い施設でサービスを提供できる。 ・土屋幼稚園跡地及び吉沢保育園跡地の利活用を図ることができる。

スケジュール(予定)

	年度						
	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
吉沢公民館	基本設計・実施設計 地質調査		建設工事	供用開始			
旧吉沢公民館				閉館	解体		
(仮称)土沢認定こども園						建設工事	供用開始
土屋幼稚園							閉園※
吉沢保育園							閉園

※入園児数によっては、スケジュールに変動があります。